

リーフレット & 審議会プレイバック

生徒・教員へのインタビュー(リーフレット vol.1 より)

中学生、教員からは、このような意見が寄せられました。

小さな
中学校
の特徴

一人になりたい時に
なりやすい

校舎がコンパクトで
移動がスムーズ

全ての生徒の情報
を把握しやすい

教員の意見
をまとめやすい

大きな
中学校
の特徴

互いに高め合う仲間
が多くできる

視野が広がる・深まる

生徒の人間関係に配慮し
たクラス編成をしやすい

一人当たりの
担当業務が少ない



生徒



教員

これからの学校に求められるスペース(第1回・第2回審議会より)

ラーニング・コモンズ(学校図書館)



自習スペース



不登校対応スペース



地域との連携スペース



第一期計画による改築順と進捗状況(第1回・第3回審議会より)

《第1グループ》 第一期計画で定められた改築順

改築順	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
学校名	五中	一中	五小	井之頭小	六中	二中	二小	境南小
完成年度	R6	R7	R10 予定	R11 予定	未着手	未着手	未着手	未着手

《第2グループ》 第1グループの学校を改築後に着手(個別の改築順序は未定)

一小、三小、四小、大野田小の体育館、本宿小、関前南小、桜野小、三中、四中

これまで発行したリーフレットはコチラ ⇒

- ・Vol.1 R6年12月発行
- ・Vol.2 R7年3月発行
- ・Vol.3 R7年7月発行
- ・Vol.4 R7年10月発行



YouTubeで
大ヒット配信中



発行:令和7年12月 武蔵野市教育委員会 教育企画課 学校改築係
TEL:0422-60-1972 FAX:0422-51-9264
MAIL:SEC-KYOUIKU@city.musashino.lg.jp

《武蔵野市教育委員会リーフレット》

みんなで考えよう！

武蔵野市の未来の学校づくり vol.5

11月6日開催

第3回審議会 News

審議会は13名(校長、PTA、地域住民、学識経験者、市職員)で構成



教育委員会からの諮問を踏まえた主要論点
・全学的な視点から見た中学校の適正な数
・未来における教育を見据えた校舎のあり方

1 学校の適正規模と校舎のあり方について審議

11月6日開催の第二期学校施設整備基本計画策定審議会(第3回)では、①学校の適正規模、②未来を見据えた校舎のあり方について、各委員から第1～2回の議論を踏まえた意見が発表され、審議が行われました。

《第3回の審議結果》

第1～3回の審議を踏まえて、審議会としては、小中学校の適正規模については、国と同様に、1校「12～18学級」にまとまりました。(小学校:1学年2～3学級、中学校:1学年4～6学級)

2 審議会に出された主な意見(その1)

建築面・財政面の意見は、裏面をご覧ください。

(1)教育面

《子どもの学び》

- ・多様な人との関わりの機会が多い方が、学びも発展もしやすく、行事の活気も出やすい。
- ・大人数の学校だからこそ、できることがあるのではないかな。
- ・人間関係に配慮した学級編成もできるような学級数は多い方がよい。
- ・特別な配慮を要する子や教室に入れない子が落ち着いて過ごせるスペースの確保など、柔軟に対応できる教育環境づくりが必要である。
- ・地域との連携のため開かれた学校がよいが、防犯対策も必要で、そのバランスが重要。

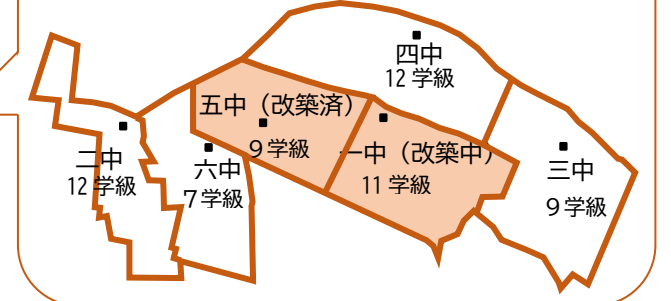
《教員の指導体制》

- ・教員は学級数に応じて配置される。教員が互いに切磋琢磨、フォローしつつ、教材研究の時間や研修機会も得やすいよう、学級数(教員数)は多い方がよい。
- ・教員が能力を発揮するためには働きやすい学校である必要がある。そのためには、コミュニケーションが取りやすく、リラックスしやすい空間づくりが大切である。
- ・中学校の先生にも多様性があつた方がよい。
- ・講師が教えているだけでよいのかと感じていた。中学校はある程度の学級数(教員数)が必要。

【次回(第4回)の審議内容】

第3回でまとめた小中学校の適正規模、第一期計画で定められた改築順、今後の生徒数の見込みを踏まえて、審議を深めてまいります。

中学校の位置と現在の学級数



第4回審議会は、1月19日(月)17時～開催予定です

オンライン傍聴

申込はコチラ⇒



子どもの学びを第一に！地域の声も聴きながら！

2 審議会で出された主な意見(その2)

(2)建築面

《改築後》

- ・時代に応じて求められる教育活動に対応できるフレキシブルな校舎が必要である。
- ・学校は地域の核。さまざまな機能、付加価値のある校舎が必要である。
- ・学校は災害時の避難所にもなるので、さまざまな状況を想定してつくる必要がある。
- ・子どもは荷物が多いので収納スペースを充実させる必要がある。

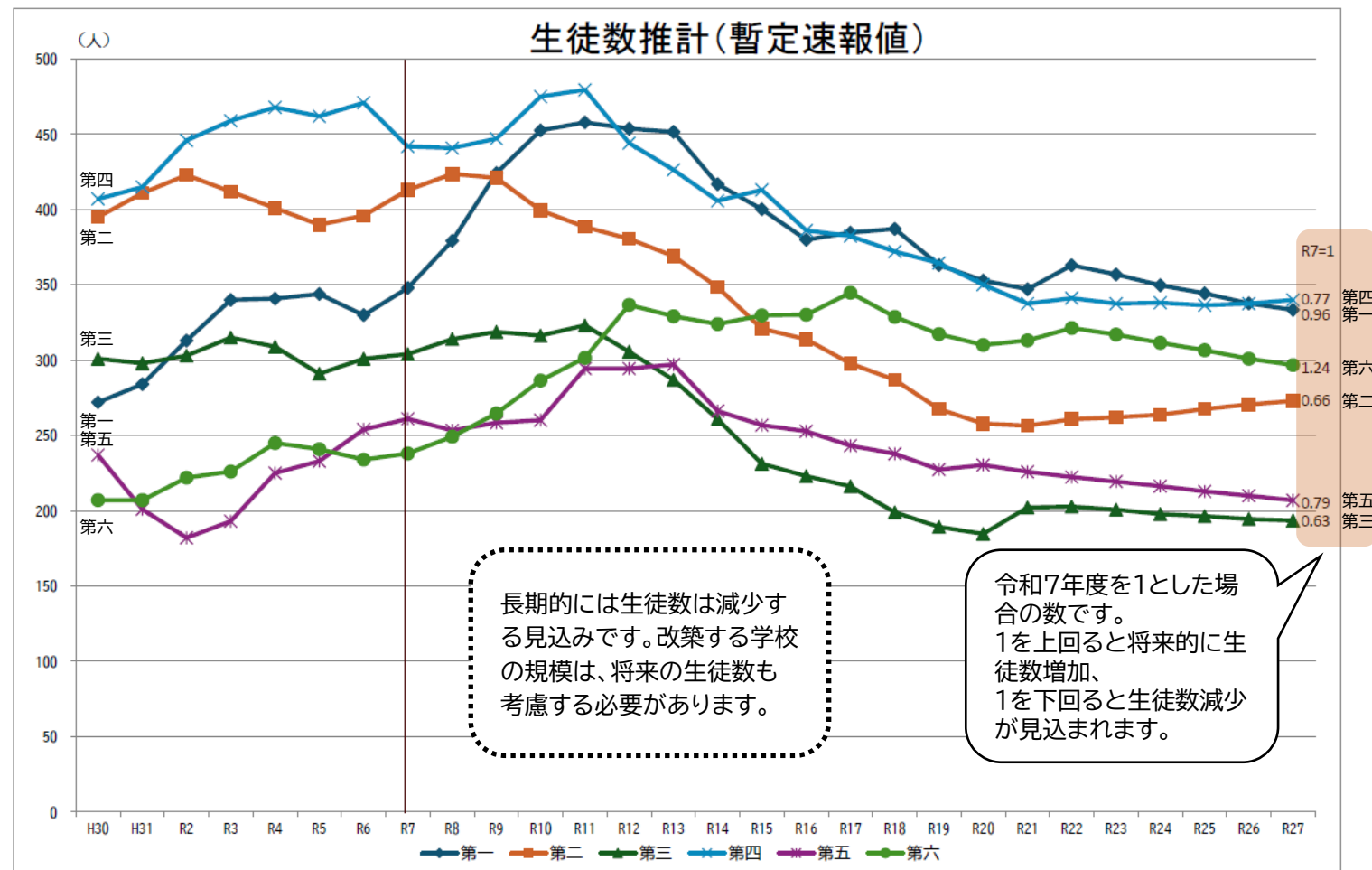
《改築中》

- ・改築中に仮設校舎で過ごす期間は、校庭が狭くなるなどの制約が生じることから、可能な限り短くすべきである。

(3)財政面

- ・物価高騰も考慮し、よい学校をつくることと持続可能な財政運営の両立を考える必要がある。
- ・選択と集中の投資で、魅力のある学校づくりを進めたい。

3 市立中学校の生徒数の見込み(第3回審議会より)



4 市立中学校全6校で状況説明会を開催



出席者
53名

令和7年10月開催

説明会動画
・質疑回答集
はコチラ→

YouTube 配信中
ぜひご覧ください！



武蔵野市
第二期学校施設整備基本計画
審議会状況説明会

- 1 教育を第一に話し合っています。
- 2 パブリックコメントを令和8年3月に実施予定



市立全小中学校 18 校の開かれた学校づくり協議会の委員を対象に、第1回・第2回審議会の状況について説明したうえで、質疑応答も行いました。

《主な質問と回答》

Q1 各校の特色をもっと出すべきだ。教員の創意工夫に期待したい。

A1 学校の特徴が地域活動に根差したものであれば、継続性があるものになりやすいと考えています。

Q2 最近では、地域で活動する人が減っているが、小中学校の適正規模を維持するために、学区域を変更する場合、地域の活動低下が懸念される。学校の連携・教育活動との関わり方の観点が必要ではないか。

A2 市立小中学校の学区域は、地域コミュニティと密接に関連しています。特に小学校の学区域は、青少協とも関連するため、地域コミュニティとの関連性は顕著であると認識しています。

Q3 地域と学校が関わることで、教員の働き方改革にもつながっている。

A3 市としても、各校への地域コーディネーターの配置や開かれた学校づくり協議会の設置など、地域と学校が連携しやすくなるよう取り組みを進めています。

第3回審議会(令和7年11月6日開催)の状況説明会を開催します。

- ① 令和8年1月6日(火)午後6時30分～ @芸能劇場 2階小ホール
- ② 令和8年1月8日(木)午後6時30分～ @商工会館4階市民会議室
- ③ 令和8年1月9日(金)午後6時30分～ @スイングホール南棟 10階スカイルーム

令和8年1月に
3駅圏で
説明会を開催

申し込み不要。
ぜひご参加ください。

5 市職員による地域出張インタビュー



回答者
27名

保護者、子どもを対象として、学校建て替え計画づくりの状況についてお知らせして、インタビューを行いました。

11月1日サイエンスフェスタ
の来場者に聞きました！



《主な意見》

○未来を見据えた校舎のあり方

- ・教室に加えて、自習室や図書室なども充実しているとよい。
- ・安全な学校を望む。防犯・防災対策のしっかりした学校がよい。
- ・中学校は市立進学と私立進学の両方を検討している。より多様な経験ができる教育環境がよい。

○小中学校の適正規模

- ・学年あたりの学級数は多い方がクラス替えで配慮がされやすいし、行事も盛り上がる。
- ・教員同士が連携、サポートし合えるように、学級数・教員数は多い方がよい。
- ・自分が中学生の頃は1学年1クラスだった。1学年2クラスあれば十分である。
- ・中学校の通学距離は、多少遠くてよく、自転車通学もありだと思ふ。
- ・自転車事故のおそれがあるので、通学は徒歩で通える距離がよい。